



平成21年 8月 7日

各 位

会 社 名 東亜ディーケーケー株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木 輝男
(コード番号 6848 東証第2部)
問合せ先 常務取締役 玉井 亨
(TEL 03-3202-0242)

「新開発研究センター」建設に関するお知らせ

当社は、このたび未来を見据えて将来への発展的基礎を固めるための施策として「新開発研究センター (New R&D Center)」の建設を決定いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 主な建設目的と構想

- (1) 「環境計測を通じて地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献する」との行動規範の下、ステークホルダーの皆様、そして社会に役立つ企業を目指す。
- (2) 今後、グローバル化が進む中、開発型企業として「開発研究なくして成長なし」の経営戦略から、世界に通用する製品開発に力点を置く。
新開発研究センターを設けることにより、「電気化学センサ技術」を始めとする要素技術の開発・取込み・評価を行う設備の充実を図り、環境計測機器の開発や顧客ニーズへの対応を強化。
- (3) 筆頭株主である米国 HACH 社との業務及び資本提携契約を更改、新開発研究センターを共同で建設すると共に、同社及び同社グループとの相互販売協力から更に発展させ、次世代新製品開発の相互技術供与を始め開発・生産を含めた事業全領域での協業を進める。
- (4) 現在3ヶ所に分散している開発拠点を統合集約し、開発本部の一体化と生産本部との連携を強化する。
- (5) 武蔵野、狭山の建物の耐震対応をも考慮し、社員の職場環境改善に資する。

2. 新開発研究センターの概要

- (1) 場 所 埼玉県狭山市 (狭山テクニカルセンター敷地内)
- (2) 建 屋 鉄骨4階建 (研究棟)
- (3) 延床面積 約 4,000 m²
- (4) 環境対応 太陽光発電、排水循環再利用システム等
- (5) 建設時期 平成21年度着工、同22年秋完成予定
- (6) 総工費 約 10 億円
所要資金の調達は、これから多角的に検討することとしており、決定次第改めてお知らせいたします。

3. 業績に与える影響

当期の業績に与える影響は軽微であります。

以上